



目 次

1	はじめに	2
2	上田市内の活動事例	4
3	学校で何かお手伝いしたいと思ったら?	6
○	4 学校へ行ってみよう	8
	5 学校って、こんなところです	9
○	6 こんなことに、気をつけましょう	10
○	7 ボランティア お悩み解消Q&A	12
○	8 参考資料	
	コミュニティスクールとは	14
	コーディネーターって、なに?	15
○	ボランティア活動保険について	16
○	9 お問い合わせ先一覧	18



はじめに



このハンドブックは、これから学校支援ボランティアを始める皆さんのためのスタートブックです。学校支援ボランティアは、誰でもできるボランティアです。思いがあれば、いつでも始めることができます。

子どもたちは地域の皆さんに見守られていることを実感し、安心して成長します。

このハンドブックを参考にして、皆さんも学校支援ボランティアを始めませんか？

これから学校支援ボランティアを始めようという方は、学校との打合せや活動の参考にぜひお役立てください。

学校支援ボランティアとは？

「**子どもたちの教育のために役立ちたい**」という思いを持って、学校教育活動や学校環境整備などを支援するボランティア活動です。

- ①**できる人が、できるときに、できること**をします。
- ②自分の**特技や学んだこと**を生かすことができます。
- ③**子どもたちの健やかな成長のために**、先生方といっしょに協力し支え合いながら、学校をよりよくしていく活動です。
- ④**自分の意志で**積極的に行う活動です。
- ⑤ボランティア活動に対する**お礼は金銭ではなく、子どもたちの「笑顔」と「ありがとう」の言葉**です。
- ⑥学校を中心に、**地域の人と人とのつながりを深め**、よりよい地域づくりをめざしていく活動です。
- ⑦学校や子どもたちにかかわるということは、**未来のまちづくり**につながります。

はじめよう、学校支援ボランティア

● ボランティアQ&A

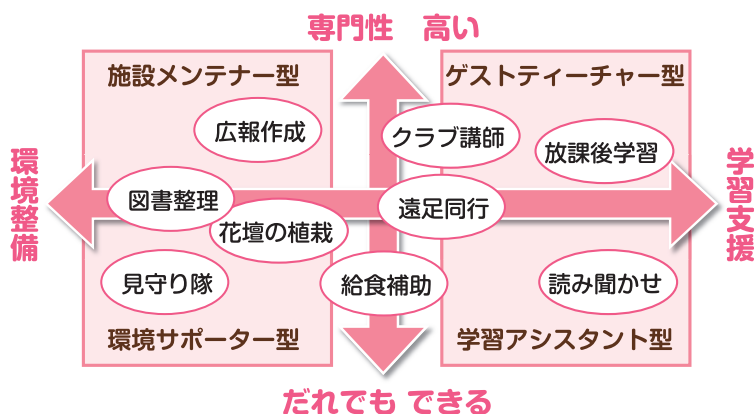
Q：子どもたちや学校のために、何かできることはないかな？

A：もちろん、あります。上田市内のすべての小中学校では、「地域とともにある学校づくり」の活動がスタートしています。子どもたちや学校は、あなたを待っています。



Q：どんなボランティアがあるの？

A：活動は、さまざまです。 ※ P 4・5 「上田市内の活動事例」 参照



Q：ボランティア活動をしたいときは、どうすればいいの？

A：上田市内のすべての小中学校でボランティア登録ができます。詳しくは、市内小中学校、教育委員会または、最寄りの公民館にご連絡ください。
※ P 18・19 「お問い合わせ先一覧」 参照

Q：活動中にケガをしてしまったら？

A：すぐに、学校にお知らせください。保険の手続きは教育委員会がいたします。

【参考】 保険名称：全国社会福祉協議会 ボランティア活動保険

補償内容：ケガの補償（死亡を含む）、賠償責任の補償（対人、対物）

※ P 16 参考資料3 「ボランティア活動保険について」 参照

上田市内の活動事例

西小・清明小 米づくり体験学習支援

西小学校と清明小学校5年生の米づくり体験は「西部地域米づくり体験実行委員会」が平成26年度から支援しています。

実行委員会では、農業経験のあるアドバイザーが両校で米の食文化を伝えたり、作業練習を行っています。田植え・稲刈り・脱穀は、ボランティアの方々も加わり、大人も子ども一緒に汗して農作業に取り組んでいます。

収穫祭では、採れたお米でお餅をついて、みんなでおいしくいただきます。

地域と学校が連携し、子どもたちが米づくり体験を通して、勤労の尊さや生産の喜びを学んで欲しいと願っています。



そえひ 傍陽小学校

支援ボランティアと神科小 「おたすけっ十有志隊」との交流



傍陽小の学校支援ボランティアは、これまで、冬期限定で月に2回、2時間目の休み時間に

「ふれあい広場（児童との交流の場）」を行ってきました。4月からは通年で活動したいと考え、すでに日常的な活動を推進している神科小の「おたすけっ十有志隊」の取組を参観させていただいた後、おたすけっ十ルーム（ボランティアルーム）でお茶を飲みながら情報交換をしました。

今後の参考になる「お宝の話」をたくさん聞くことができました。

塩田中学校 「塩田めぐり」ガイド

地域が学校を支援する、愛称「しおだっ子応援団」を立ちあげ、活動を始めて今年で12年目を迎えています。活動の一つである行事部門では、発足当時から1年生の体験学習「塩田めぐり」に合わせ、ボランティアが地域の史跡や文化遺産・自然環境のガイドを行っています。子どもたちに塩田地域の伝統に根ざした本当の素晴らしさを体験してもらい、この地に住んでいることを誇りに思うと同時に、将来にわたって大切を守ってほしいとの願いから、ボランティアの皆さんが真剣に取り組んでいます。最近では、子どもや保護者が地域に関心を持ち、大切に思ってくれるようになりました。



第五中学校 地域の先輩に学ぶ講座

第五中学校の「地域の先輩に学ぶ講座」が始まって14年目を迎えます。

全部で24 講座。8～9 月中に全6回開講し、鳳祭（文化祭）で発表をします。お手玉、コカリナ、ギター、童謡、琴、洋裁、そば打ち、ケーキ作り、着付け・礼法、茶道、器械体操、ちぎり絵、木彫、切り絵、アートフラワー、絵手紙、廃油石鹸作り、生け花、紙粘土、韓国語、五中サロン、3D写真、将棋、パドル体操。さあ、どの講座に参加したいですか。

このように五中の生徒の皆さんは、地域の人々とバリエーション豊かに関わり、育まれています。



学校で何かお手伝いしたいと思ったら？

●ステップ1 活動の様子を見てみよう

自治会の回覧や学校のホームページなどをご覧ください。子どもたちの笑顔や地域の皆さんのいきいきとした活動の様子があふれています。

●ステップ2 誰かに聞いてみよう

活動に参加したいと思ったら、まずは市内小中学校、教育委員会または、最寄りの公民館に連絡をして、ボランティアに参加したい旨をお伝えください。

※P 18・19「お問い合わせ先一覧」参照

●ステップ3 会ってみよう

学校や教育委員会、公民館の担当の職員と面会の日程を決めましょう。

学校と地域の皆さんをつなぐコーディネーターもいます。

※ P15「参考資料2」参照

●ステップ4 登録しよう

面会した際に活動の内容などを確認し、了解いただけたら、右記の「ボランティア登録用紙」にご記入ください。用紙は各学校に用意されています。保険に加入する際の資料になります。

なお、ボランティア登録は毎年更新します。
活動を続けていくことが難しくなった場合
は、お気軽に、教頭先生やコーディネーター
にお伝えください。

「できる人が、できる時に、できることを」が基本です。謝礼や交通費は出ません。

活動中のケガ等に備えて、教育委員会が、
ボランティアの皆さん対象の保険に加入します。

※ P 16 参考資料 3 「ボランティア活動保険について」 参照

[illegible]

●ステップ5 学校に行ってみよう

学校内への出入りの際は、事務室にひと声かけてからお入りいただき、職員室の教頭先生（または担当職員）を訪ねてください。

●ステップ6 三種の神器

学校支援ボランティアの三種の神器は、「名札」「上履き」そして、「明るい笑顔」です。三種の神器で安全に、楽しくボランティアに参加しましょう。

* 学校内は階段や段差が多いので、「上履き」は、運動靴が望ましいです。

●ステップ7 打合せは念入りに

はじめてボランティアに入る時は不安なことが多いものです。各学校には教頭先生や担当の先生、コーディネーターがいます。「活動の内容」はもとより、「時間」「場所」「準備するもの」「子どもの様子」などについて共通理解をしましょう。

●ステップ8 さあ、はじめましょう

さあ、いよいよ始めましょう。子どもたちは待っています。



学校へ行ってみよう

●学校の一日は、このようになっています

〈ある小学校の場合〉

時 刻	日 課
7:15 ~ 8:00	登 校
8:20 ~ 8:35	朝 の 活 動
8:45 ~ 9:30	1 時 間 目
9:35 ~ 10:20	2 時 間 目
10:20 ~ 10:45	休 み 時 間
10:45 ~ 11:30	3 時 間 目
11:35 ~ 12:20	4 時 間 目
12:20 ~ 13:30	給 食
13:35 ~ 13:50	清 掃
14:00 ~ 14:45	5 時 間 目
14:50 ~ 15:35	6 時 間 目
15:35 ~ 15:50	帰 り の 会
16:05	下 校

＊日課は若干異なりますので、詳細は各学校にお問い合わせください。

＊中学校では、放課後に部活動が行われています。

＊先生方は授業終了後、職員会議や学年会議、また校内研究や研修等をします。

◆◆ 学校へのお問い合わせやご相談は ◆◆

学校への問い合わせや相談の窓口は、教頭先生です。学級担任の先生と話したい場合は、昼休みか放課後だと連絡がとりやすいでしょう。

その他のご相談は、市内各公民館の担当者や、教育委員会生涯学習・文化財課の統括コーディネーターに気軽にご連絡ください。



※統括コーディネーターとは・・・

地域の皆さんと学校や公民館との連絡調整のため、教育委員会に配置されています。

学校って、こんなところですよ

POINT 1

学校の活動にはねらいや計画があります

- 学校には、「こんな子どもに育てほしい」という願いを込めた教育目標があります。これは、地域や子どもの実態を踏まえ学校ごとに決めています。
- 授業や学校行事など1年間の教育活動の計画もあります。これに沿って、毎日の活動が行われています。
- 授業にはねらいがあり、子どもが考える時間を大切にしながら、計画的に行われています。

POINT 2

先生方には、授業以外にも学校のための仕事があります

- 学校では「校務分掌」といって、子どもの安全や学校行事、地域との交渉などのたくさん仕事を分担して行っています。

POINT 3

学校は子どもの安全を守っています

- 先生方は日頃から、子どもたちの安全について気を配っています。ですから、突然の来校者や訪問者については、安全を確かめます。このため「どんなご用ですか？」とたずねられたりします。

POINT 4

学校は子どもの人権を守っています

- 先生方は、児童生徒やその家族についての情報を口外することはありません。それは、これから成長する子どもたちの将来を考えてのことです。ボランティアが、学校で知り得たことを口外してはいけないのも、このためです。軽はずみな言動が子どもたちに思いがけない影響を与えてしまうことがあります。

キーワードは、「子どもが、まんなか」です

こんなことに、気をつけましょう

こ

心のもったあいさつで一日をはじめましょう

コミュニケーションの第一歩は、あいさつです。

子どもたちと過ごす一日が、明るいあいさつで始まるといいですね。

ど

どんな子どもにも、いいところ

子どもたちのいいところや、がんばっている姿を見つけてほめてあげてください。きっとそれが、子どもたちの自信につながります。

も

持ち物は、「名札」「上履き」「明るい笑顔」

ボランティアの三種の神器は「名札」と「上履き」、「明るい笑顔」です。

が

学校には秘密の情報がいっぱい

学校にはさまざまな個人情報があります。子どもたち一人ひとりを大切にする意味でも、子どものプライバシーを守りましょう。

まん

万が一の時は、まず連絡を

約束の時間に行けなくなった等、不測の場合は、すぐに学校に連絡をしましょう。

な

何でも相談できる仲間になりましょう

学校の方針を理解・尊重し、何でも話し合いましょう。

子どもの様子で気にかかることがあったら、担任や教頭先生などに気軽に相談しましょう。

か

活動は、長い目で見て楽しんで

活動の成果が出るまでには時間がかかります。あせらず気長に進めましょう。



子どもたちは、かけがえない存在 未来の宝です



- ☐ 子どもの人権に配慮し、尊重しましょう。
- ☐ 時には毅然とした態度も大切です。
- ☐ 子どもの安全を第一に考えましょう。
- ☐ 体罰は、いかなる場合においても絶対にやめてください。
- ☐ 子どもたちや子どもの家族に関わる個人情報は、学校外では話しません。

みんなで大切な子どもたちを育てましょう

学校支援ボランティアで
先生方と力を合わせて、
すべての子どもたちを育
むために

あなたの経験や
専門性を
活かしてみませんか

